



おしえて、聞かせて 青森市民病院 医療最前線

青森市民病院情報誌

# ほほえみ

令和六年春・夏号 (Vol. 100)

■職員紹介シリーズ⑪  
～看護局長 山崎智子～

■新任医師紹介

■医療技術局、看護局  
ニューフェイス紹介

■がん相談支援センターの  
ひろば⑤

■医療情報 ～紅麴～

■第8回川柳フェスティバル  
入選結果

■Spring Mini Live 2024



青森市民病院 看護局

今回の当院の職員紹介シリーズは  
看護局長 山崎智子さんです。  
山崎看護局長には、お忙しい中取材の  
時間をつくって頂きました。



青森市民病院 看護局長

山崎 智子

## ●出身はどこですか？

青森市で生まれ育ちました。青森市立西  
中学校、青森県立青森南高等学校、国立弘  
前病院付属看護学校を卒業後当院へ就職  
し、現在に至ります。

## ●看護師になろうとしたきっかけは？ 看護師としてやりがいを感じる「仕事」は？

看護師になろうとしたきっかけは、社会に出  
て女性が自立して生活するための職業として魅  
力を感じたことです。私は、実父が亡くなり、  
祖父が目の前で心筋梗塞の発作で亡くなった経  
験もあった中で、母子家庭となったのですが、  
今後の職業を考えた時に、女性が自立するた  
めに資格を取り長く働くことのできる看護師にな  
ろうと思ったのがきっかけです。

実際に看護学校に入学して、実習での患者さ  
んとの出会い、教員や同じ職業をめざす学生と  
学ぶ中で、看護師として患者さんに寄り添い、  
回復過程への援助をすることに魅力を感じまし  
た。

当院に勤務してから、患者さんにケアを提供  
するだけではなく、患者さんから多くの学びと  
励ましをもらっていると感じています。新米主  
任看護師の私を認めてくれた女性の患者  
さんが、「誰かわからないが、あなたを認めて主  
任として任命されたのだから、頑張りなさい」  
と、お亡くなりになる数日前に励ましてくれま  
した。その患者さんは、自分で事業を立ち上げ、  
女性として働き続けた方でもあり、その言葉は  
いまだに私の心の支えになっています。

看護師として、直接患者さんの回復を支援で

きることや、患者さんやご家族の気持ちにより添えることができることにやりがいを感じます。

### ●尊敬する人は？

尊敬する人というか、尊敬する人達として、看護師として当院で共に働いた多くの先輩看護師を尊敬しています。これまで、新人で入職したICUを含め、12の部署で働いた経験から、看護師としての技術や患者さんへの対応など、人生の先輩でもある人達から多くを学びました。今の私があり、30年以上働き続けられたのは、諸先輩方のご指導のおかげであると思います。

もう一つ、競走馬のゴールドシップを尊敬しています。芦毛のもう引退した競走馬です。競馬には興味はないのですが、2012年の皐月賞で後方から優勝したシーンと、2015年春の天皇賞で、ゲートに入るのを嫌がっていたのにも関わらず優勝したレースは尊敬します。気性が荒く気分屋と言われていますが、底力ととてつもないパフォーマンスが、私にとって「よし、がんばろう」という力を与えてくれます。

いまは引退し、北海道の牧場にいるので、いつか会いに行きたいと思っています。



働き始めの頃  
先輩看護師と



### ●趣味やいま興味を持っていることは？

趣味は美術館に行くことです。浅学ながら、本物の絵画や美術品に触れると、美しさに引き込まれ感動し、心が洗われます。青森県内でも、棟方志功や関野純一郎の版画、草間彌生のオブジェなど見所は数多くあります。

青森市内では、いま移転オープンした青

森市民美術館、県立美術館、国際芸術センターなど、生活圏内で美術に触れる場があることはうれしいことです。

四国の瀬戸内国際芸術祭に行った際には、船で島々に渡り、アート作品に触れることができました。美術館という建物や場所も心地よい空間です。日常とかけ離れた静かな空間が好きなのかもしれません。



ベネッセアート  
サイト 南瓜

もう一つは、家庭菜園での農作業です。趣味と言いますか、自宅に小さい畑があり、義母から引き継いで野菜を作っています。今年は、



大塚国際美術館 モネの庭

トマト、キュウリ、なす、ピーマン、ラディッシュ、ニンジン、カボチャ、枝豆を植えました。毎年、大成功とは行きませんが、自分で作って食べることで、土を大事にすることを心がけています。



### ●青森市民病院の目指している看護師像を語って下さい

看護局では、「人にやさしく思いやりのある看護の提供」ができることを理念としています。地域の中核病院である当院において、患者さんが住み慣れた場所でその人らしく生きていくための看護ケアが提供できる看護師をめざしています。

現代社会は、VUCA (ブーカ) の時代と言われています。VUCAとは、Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実性)・Complexity (複雑性)・Ambiguity (曖昧性) の造語ですが、未来の予想

が難しくなる状況のことです。コロナ禍での変化に応じた対応や、災害への支援など看護職の役割の拡大と重要さは社会的にも周知されてきています。看護職として、柔軟性を持ち、専門的知識に基づき、安全で安心な看護を提供できるように、努めて参ります。

### ●好きな(大切にしている)言葉は?

マザーテレサの言葉で、「暗いと不平を言うよりも、自ら進んで明かりをつけましょう」を大切にしています。世の中、不平不満があふれていますが、言うだけでは何も変わりません。困難なことがあっても、少しでも、一歩でも前に進んで、自ら行動することを後押しし、勇気をくれる言葉です。

### ●「ほほえみ」の読者に対して一言など

青森市の観光イメージキャラクターねぶたんを知っていますか。ねぶたんの背負っている「Happy リュック」のなかには、「元気」「健康」「安全」「仲良し」「敬い」「平和」「円満」「楽しみ」「嬉しさ」「感動」「愛」などしあわせ満喫セットが詰めこま

れています。「元気」「健康」は青森市の病院として提供できるものであると考えています。青森市民病院をこれからもよろしくお願います。



©AOMORI/N・HCP

青森市観光キャラクター  
ねぶたん



左上から 副看護局長：葛西真弓 教育担当看護師長：赤石真由美 看護助手（事務専任）：古川雅代  
左下から 副看護局長：木村香 看護局長：山崎智子 副看護局長：白塚晶子